

平成30年度 協働によるまちづくり 活動発表会

～来て、見て、活かす！まちづくりのヒントが満載～

開催報告書



主催：掛川市

共催：掛川市地区まちづくり協議会連合会

目 次

主催者・共催者あいさつ	1
開催結果概要	3
アドバイザー紹介	4
まちづくり活動事例発表資料（アドバイザー講評）	
① 睦浜・大坂地区まちづくり協議会	5
【 活かし合う、助け合う 得意な所を持ち寄って地域力を活かした まちづくり 】	
② 西郷地区まちづくり協議会	8
【 人生 100 年時代を見据えた西郷の取り組み ～将来にわたって 豊かな生活を送るために～ 】	
③ どこ屋台実行委員会	10
【 どこ屋台 ～掛川祭り屋台リアルタイム位置情報マッピング～ 】	
④ かけがわ	13
【 かけがわ未来づくり会議で学んだこと 】	
⑤ NECプラットフォームズ株式会社	15
【 NECプラットフォームズの社会価値創造、社会貢献活動 】	
まちづくり活動紹介エリア	18
アドバイザー全体講評（川端務夢）	23
当日の様子（写真）	25
アンケート結果	27

掛川市長 あいさつ



皆様、こんにちは。協働によるまちづくり発表会にご参加をいただき、本当にありがとうございます。

掛川市では、これからの時代に対応したまちづくりの手法として「協働」を取り入れ、多くの方々との対話を重ね、その推進を図ってまいりました。平成28年に「地区まちづくり協議会」が設立され、3年が経過しようとしています。

それぞれの地域特性にあった活動に加え、地域課題の解決のための企業や市民活動団体、協議会同士の連携の取組が増えてきており、「協働によるまちづくり」が、一歩ずつ着実に前進していると感じています。

今年、5月1日には新しい元号の時代となります。それに伴って、新しい国づくり、まちづくりが求められています。戦後70年以上経過し、中央集権体制による国、都道府県、市町村という三層の統治体制は、すでに限界に来ていると感じています。これからは、地方が自立し、地方自らがまちづくりを発信していく時代になっていくものと思います。そのとき、最も重要で必要とされるものが、地域のまちづくり活動を住民自治組織が担うことであります。これにより、地方が頑張り、日本が活力ある国として、世界に伍していく力になっていくことにも繋がっていきます。そういう意味では、地区まちづくり協議会が中心となって地域の課題解決をしていくことは、将来の発展を担っていく大変重要な仕組みであり、多くの地方自治体でそのような取組が進んでいくと思います。

地域、市民活動団体、企業の皆様からそれぞれが取り組まれた活動の中から、今後の取組を充実していくための考え方、ヒントを見つけていただき、さらにまちづくり活動が発展していくことを期待しております。

掛川市長 松井三郎

地区まちづくり協議会連合会 会長 あいさつ

協働によるまちづくり活動発表会にご出席くださいます。誠にありがとうございます。日頃は、各地区まちづくり協議会の事業にご支援、ご協力いただき重ねてお礼を申し上げます。

この活動発表会も平成28年度にはじめて開催し、今回が4回目になります。年を追うごとに充実する各団体自慢のまちづくり活動をお聞きし、情報の共有化と活動の水平展開を図ることからも、毎年期待をもって拝聴しております。



さて、今年は「亥年」です。亥年は、古くは宝永大噴火、関東大震災、伊勢湾台風、そして阪神淡路大震災などの大きな自然災害が発生しています。干支と災害の因果関係はないと思いますが、有事への備えはきちんとしておく必要があります。災害が発生したとき何が大事か。それは、隣三軒両隣が支え合う“絆”の心意気であり、地域コミュニティの力です。安全で安心なまちづくりは、すべての地区まちづくり協議会において共通の願いであります。地区まちづくり協議会はそうしたコミュニティをつくりあげる仕組みづくりでもあります。防災は自分の命は自分で守る、が基本ですので、一人一人の防災意識の向上とともに、自主防災会と地区まちづくり協議会とが連携し、更なる防災意識の向上を進めていただきたいと思います。

また、今年は大部分の協議会が設立から4年目に入りますので、地区のビジョンに基づいた活動であるかを検証し、次年度に向けた礎の年になる事を望みます。

地区まちづくり協議会、市民活動団体、企業と、いずれも異なった視点からの特色ある活動ばかりですので、皆様の今後の活動に新たな気づきを感じていただければ幸いです。

結びに、新たな元号となるこの一年が、多くのまちづくり団体に実り多き一年となることを祈念し、挨拶いたします。

掛川市地区まちづくり協議会連合会 会長 中村 隆哉

協働によるまちづくり活動発表会

～来て、見て、活かす！ まちづくりのヒントが満載～

開催結果概要

(1) 事業名 平成 30 年度 協働によるまちづくり活動発表会開催事業

(2) 日時 平成 31 年 1 月 26 日 (土) 13:30～16:00

(3) 会場 掛川市文化会館シオーネ 大ホール

(4) 主催等 主催：掛川市（まちづくり協働センター（生涯学習協働推進課））

共催：掛川市地区まちづくり協議会連合会

一部運営委託：特定非営利活動法人掛川シニア交流研究会

(5) 目的 自治基本条例に基づき地区まちづくり協議会が設立し、3 年が経過しようとしています。それぞれの地域においては、自らの地域をもっとよくしたいとの思いから、地区まちづくり協議会や市民活動団体及び企業など、様々な団体による市民主体の協働によるまちづくり活動が活発に行われています。

これらの素晴らしい活動をより多くの皆さんに知っていただき、新たな気づきを得る場をつくることで、活動が充実、発展し、より元気で希望に満ちた掛川市となることを目指し、その一助となることを願い、協働によるまちづくり活動発表会を開催しました。

(6) 内容 ・まちづくり活動発表会

【発表団体】各 5 団体

（地区まちづくり協議会 2 団体、市民活動団体 2 団体、企業 1 団体）

協働の視点で特色あるまちづくり活動を行った団体が、その活動を発表することで、あらゆるセクションからの参加者がまちづくりへの関わりや、自らができることを意識し、今後の取り組みへの気づきを得る場となりました。また、アドバイザーによる講評からさらなる活動発展へのヒントがありました。

・まちづくり活動紹介エリア（ホワイエ・玄関前）

【展示団体】18 団体

（市民活動団体等 16 団体、企業 2 団体）

パネル展示により、市内外で行われている様々なまちづくり活動の取組を紹介し、交流をもってもらうことができました。

(7) 参加者 230 名

（地区まちづくり協議会等 139 人、市民活動団体等 31 人、行政 28 人、一般 15 名、その他 17 名）

まちづくり活動事例発表

① 睦浜・大坂地区まちづくり協議会

【 活かし合う、助け合う 得意な所を持ち寄って地域力を活かしたまちづくり 】

② 西郷地区まちづくり協議会

【 人生100年時代を見据えた西郷の取り組み
～将来にわたって豊かな生活を送るために～ 】

③ どこ屋台実行委員会

【 どこ屋台
～掛川祭り屋台リアルタイム位置情報マッピング～ 】

④ かけがわ

【 かけがわ未来づくり会議で学んだこと 】

⑤ NECプラットフォームズ株式会社

【 NECプラットフォームズの社会価値創造、社会貢献活動 】

アドバイザー 紹介

千野 和子

Chino Kazuko

(公財)ふじのくに未来財団
副代表理事



公益財団法人ふじのくに未来財団
副代表理事として、「もっと、いい
まちにしたい」と、自ら汗をかき活動
している皆さんを応援するため、人材
や資金等の情報を提供しています。

川端 務夢

Kawabata Tsutomu

掛川市協働の
まちづくりアドバイザー



掛川市協働アドバイザー (2015～)
静岡県のNPO中間支援機関のセン
ター長を歴任し、現在は市内外の市民
活動等へのサポートを精力的に行っ
ています。

上記まちづくり団体のまちづくり活動事例の
発表に対し、講評をいただくアドバイザーを
紹介します。

睦浜・大坂地区

まちづくり協議会

活かし合う、助け合う 得意な所を持ち寄って地域力を活かしたまちづくり

「今よりも、少しでも地域を良くしていくにはどのようにしたら良いのか」について、検討した結果、両協議会が協力し、それぞれの得意な分野で役立ち合う「協働」で実施されました。これにより実施に対する負担感を減らし、かつ、より多くの人に影響を与え、大きな広がりになりました。



睦浜地区

・人口 2,647人 (904世帯)
12月末現在 ※外国人含む

こんなところ

- ・海が近く
- ・砂地を活かした農業が盛ん

まちづくりの主な取り組み

- ・心暖かい人が多いので、地域内の交流を深めることから取り組む
- ・他地区との交流
- ・耕作放棄地対策



大坂地区

・人口 5,089人 (1,865世帯)
12月末現在 ※外国人含む

こんなところ

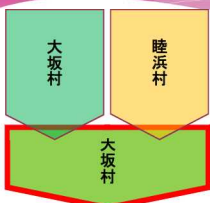
- ・ショッピングセンターがあり買いものに便利
- ・農業は山を利用した茶や、稲作が盛ん

まちづくりの主な取り組み

- ・地域内の交流が盛んなので、イベント型の健康増進事業などのほか、地域力を活かした課題解決事業にも取り組んでいる



睦浜地区＋大坂地区＝旧大坂村



- ・1955年(昭和30年)4月19日 大坂村と睦浜村が合併し、大坂村を新設
- ・1956年(昭和31年)8月1日 大坂村と千浜村が合併して大浜町になるまで。



もっと住みよい地域にしていけるためには…

睦浜地区

大坂地区

- ・協議会も3年目に入り、成果が出てきたこともあった。
- ・しかし、これから先もっと前に進んでいくためには、なにが必要だろう。どうしたらいいのだろう。

これまでの取り組みを振り返り、これからを考えました。

- 多くの人と交流できる場をつくりたい
- もっと多くの人に知ってもらいたい
- 身近な地区ともっと交流を持ちたい

- これまでの活動を活性化させるために、新たな参加者に参加してほしい
- これまで行ったことのない取り組みをやってみよう

ほかはどうしてるんだらう…

うーん…

どうしようかな…

両地区の地区ビジョンには

睦浜地区まちづくり協議会 まちづくり計画

『高めていこう・深めていこう
・安心安全きれいなまち』

大坂地区まちづくり協議会 まちづくり計画

『豊かな里山、田園風景の中で、
住んで良し・暮らして安心
大坂地区』

互いに“地域をよくしたい”
という思いは同じ。

もっといい地域にしたい、という共通の想いがあります。
一緒にできないわけがない！
一緒にやるメリットのほうが大きい！

そうだ！ ちょっと隣に聞いてみよう

- ・元々同じ小学校区
- ・大坂小学校の卒業生
- ・地域性も似ている

ちょっと聞ける
雰囲気があった

- ・会長も、事務局も、みんな仲がいい
- ・日頃から話がされている

隣の事務局同士で“ちょっと”話しをしてみました

どうやってる？
なにやってる？

イイねーそれ！

すると…



こんなことやってるよ！

一緒にやらない？

いいアイデアが出て、できることから一緒にやってみよう、となった！

一緒にやったら、
前向きな気づきが生まれました

一人でやるよりみんなでやる！
わからないことは誰かと一緒に考える！
できないことは誰かと一緒にやる！

みんなで作ると楽しい！

皆の意見で、もっといい
アイデアが出てくる！

単独ではできなかったことができて、
今よりもっと、良い地域にしてい
くことができる！

お互いのできることで協力できた！

参加者が増えた！

できない理由ではなく、
どうしたらできるかが、わかった

新たな気づきが生まれた！

フィールドがない…
⇒地区から飛び出せば
すぐそこにある！

進め方がわからない
⇒わかる人がいた！

小さく初めて大きく
していこう！

互いに得意なことや、困っていることを気軽に話し合うこ
とで、支え合い、補い合うきっかけになりました。

協働により実施した事業の紹介

お芋の体験学習

陸浜地区

- ・陸浜地区は、砂地の畑を利用したさ
つまいもづくりが盛ん。一方で耕作
放棄地の拡大による荒れ地の拡大が
地域の課題だった。
- ・これを防ぐため、平成28年度より協
議会事業として耕作放棄地対策を実
施。
- ・地域みんなで耕作放棄地に作物を作
ることが出来ないか、考えていた。

大坂地区

- ・地域の交流促進につなげるために、
さつまいもづくりをやってみたく
思っていた。でも芋に適した畑も生
産のノウハウもない。
- ・地区民同士の交流でお芋の生産者か
らお芋をいただいた。おいしかっ
た！まち協で何かやってみたい…
- ・生産のノウハウを持つ陸浜まち協へ
合同実施の提案をした。

H28 大坂から提案

大坂：お芋の体験学習
ができないか？
陸浜：いいね！
一緒にやろう！

H29 事業化の計画

両部会が中心
大坂：地域振興部会
陸浜：教育文化部会

H30 事業実施

事務局も支援！

お芋の体験学習

芋の苗の植え付け作業 平成30年6月10日（日）

事業の様子



・ 専門家を呼んで芋のでき
方等をしっかりと説明し
ました。

・ 若い家族16世帯、子ども、
保護者のあわせて35名ほ
どが参加しました。

お芋の体験学習

芋の収穫作業 11月3日（土）



事業の成果

- ・ 参加者同士の交流が深まった
- ・ 楽しく地域の特産について勉
強できた
- ・ 世代交流ができた
- ・ 部会員の交流が深まった
⇒一緒にやろう、という雰囲気
ができた

次回に向けて

- ・ 収穫だけでなく、芋切り干
しなどの加工までやりた
かった。
- ・ 植えて収穫だけでなく、追
肥、草取りなど、途中経過
を含めれば良かった。

協働により実施した事業の紹介

3世代交流イベント

大坂地区

- ・ 地域の世代交流を目的に、子ども
からお年寄りまで、楽しく交流でき
る場を作りたい、と思い小学校と協議
しH26からスタートした。
- ・ 子どもの参加については、大坂小学
校内で差が出ないように配慮はして
いた。
- ・ ただ、H29までは陸浜地区のシニア
クラブの参加は行っていなかった。

陸浜地区

- ・ 地域にもっと交流を作るために何か
たのしい事業をしたい。
- ・ しかし、協議会設立から間もないの
で、取り組む事業も現状で精一杯。

大坂地区

- ・ 事務局同士の話し合いの席で陸浜地
区のものな現状を知り、事業の共催
実施の提案をした。

H26～H29 大坂地区センター・
まち協 単独で実施

H30 協働実施に向け、陸浜地区へ打診
協力内容等の調整

10月 第5回 協働事業
として
新たに実施

事務局も支援！

打診 協力内容等
の調整

3世代交流イベント

事業実施日 平成30年10月27日（土）

事業の様子



大勢が参加したイベント会場

折り紙

チャレンジランニングゲーム

コマ回し

力を合わせて頑張った綱引き

3世代交流イベント

内容も子どもが参加しやすいものを考えました。



協力してくれた
小学生ボランティア

スカットボール

ブローゴルフ

事業の成果

- ・ このほかにも一緒に事業をで
きるのではないかと、気づいた。
- ・ 小学校区の全員（小学生、シ
ニアクラブ）が参加できたこ
とで、地域に一体感が生まれ、
より広い範囲での世代交流と
なった。

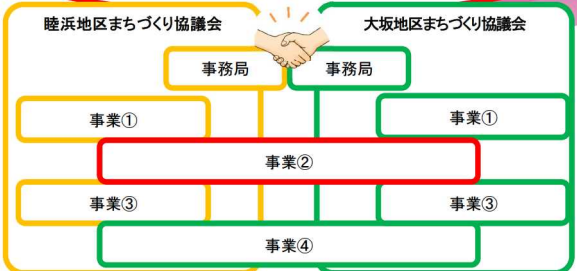
次回に向けて

- ・ もっと多くの皆さんに参加
いただくために、様々な人
が参加しやすいものを、両
協議会が一緒になって考え
ていきたい。
- ・ マンネリ化しないように、
多くの人が、誘い合って参
加できるようにしたい。

ディスク輪通し

協働のかたち

**協働によるまちづくり
地域をよりよくしていくために**



陸浜地区まちづくり協議会

事務局

事務局

大坂地区まちづくり協議会

事業①

事業②

事業③

事業④

できることから。ひとつずつ。
効果があるなら、すこしずつ一緒に！

協働で行う際に気をつけたこと

事業の目的は何かを共有しました

もっと暮らしやすい地区にしているために活動をしているので、ただ一緒に事業をやればいいのではなく、何のためにやっているのかという目的をしっかりと共有しました。そのために情報の共有も大切にしました。

会話を大切にしました

しっかりと言葉を交わすことで、思いが共有化でき、多くの気づきを得るとともに、新たなアイデアが生まれ、よりよい事業になりました。

互いに平等な立場で取り組みました

どちらが上、下、相手がやってくれる、と任せ頼り切るのではなく、互いが得意とする分野で、できることで協力していました。

子供たちに残したいものがある。伝えたいことがある。

お互いの思いは同じ。



協働で取り組んだ成果

▶ 地域の枠を超えて新たなつながりができた

一緒に取り組むことで、地区の枠にとらわれず、より多くの人と関わることができ、良い関係づくりや、様々な実情が理解できました。

▶ 隠れた人材に気づいた

互いに得意な分野で関わることで、双方の地区で特技を持つ人の発掘につながり、地域の豊富な人材に気がつきました。



▶ これまで参加できなかった皆さんが参加できるようになった

同じ小学校区で行っているのに「参加しにくい…」という、さみしい思いが無くなりました。

協働で取り組んだ成果

▶ 事務局の負担軽減につながった

全部自前で行うのではなく、スタッフが充実し、作業分担ができたことで、事務局への負担の軽減につながりました。



▶ これまでになかったアイデアが出た

いつもと違うメンバーが、違う視点でアイデアを出し合うことで、新たな視点、気づきが生まれました。

これまでのマイナス面？
⇒ありません！

今後の取り組み

まち協はみんなで地域をよくする仕組み

地域をよりよくしていくために
まち協同士も“協働”によりまちづくりを



今後は、両協議会が一緒にやったほうが効果的であるもの、さらには、NPOや企業、そのほかの団体と一緒に、それぞれの持つ得意な分野のノウハウやアイデアを出し合って、協働によりまちづくりを進めていきたいと考えています。

アドバイザー講評 千野和子

仕事柄、他の市町に何うことも多いのですが、掛川市のまちづくり協議会の活動は分野も広く、毎年立派な成果発表を聞くことを楽しみに来ています。今日も本当にいいお話を聞かせていただきました。

とかく隣り合わせの地域はあまり仲が良くないことが多いのですが、この事例では異なる地域のまちづくり協議会が仲良く事業を実施されたというところにまず驚きました。また、最後のスライドで示された事業成果が、協働の教科書に書かれているような結論に着地したことに大変感心しました。

国連は、世界が抱える問題を解決し持続可能な社会をつくるために必要な開発目標「SDGs（エスディーゼス）」を示しています。その中の一つに「住み続けられるまちづくり」という項目がありますが、掛川市のまちづくり協議会はまさに、その目標のために活動されていると言えます。

両協議会は今年度、協働により農業の分野を中心とした「3世代交流会」等をされましたが、防災など他分野での可能性もたいへん高いと思います。今後も様々な分野、事業へチャレンジし、活動を続けていただきたいと思います。

この団体の発表、資料をご覧になって「良いね！」と感じたことは何ですか？

自分たちと異なる団体で、目的を同じくする取り組みをしている団体とどうすれば協力できますか？

西郷地区まちづくり協議会

人生100年時代を見据えた西郷の取り組み ～将来にわたって豊かな生活を送るために～

人生100年時代到来を見据え、当地区では適切な運動が必要と考えましたが、そのための技術、アイデア、魅力が思いつきませんでした。そこで共通の目的をもつ得意な人を招き、協働で取り組むことで、大きな満足を得て、役員負担を減らすことができました。



運動してますか？

30分以上の息が弾み汗をかく程度の運動を週2回以上を行うことで、生活習慣病、生活機能の低下予防、全身筋力の維持向上、軽度認知障害の改善が期待できる。

健康づくりのための身体活動基準2013（厚労省）

3

人生100年時代を見据えた西郷の取り組み

- ① 人生100年時代とは？
- ② 西郷地区の特徴と課題
- ③ 健康寿命を延伸するために
- ④ 大切なのはわかるけど、やり方がわからない
- ⑤ 餅は餅屋（体協）
- ⑥ 協働の誕生
- ⑦ 運動教室のしくみ（運動イベントじゃなく、運動習慣にするために）
- ⑧ ぞくぞく運動の輪が拡大中



人生100年時代とは？①

- リンダ・グラットン著「LIFE SHIFT」東洋経済新報社
- 平均寿命は1840年から2000年までの間に10年で2, 3年づつ伸びている
- 2007年に生まれた日本人の約半数が107歳より長く生きると推定
- 教育、就労、老後（引退）の3ステージだけでなく、長い老後を生き抜くために、教育、就労、さらにボランティア、教育、転職や副業など別のステージを考慮していかなければならない。

豊かな生活を送るために

5

人生100年時代とは？②

- たんに寿命が延びるのだけではバラ色じゃない。
- 新たなステージで活躍していくためには、健康寿命を延ばし、生涯現役でいることが重要。健康を維持しながら様々なステージで活躍していかなければならない。
- 健康寿命と平均寿命との差をなくし、病院と薬に頼らず、最期にピンピンコロリすることは多くの人の願い。

西郷地区の特徴と課題

6

西郷の特長と課題

特徴

- 豊かな田園風景、広がる茶畑
- 東西、南北に結ぶ交通網
- 住宅地が整備され、増える人口

課題

- 地区全体が広いので、どこに行くにも自動車
- 山間部を中心に伸びる高齢化率

全ての人が元気に活躍し、安心して暮らしていける地域

7

平成28年国民生活基礎調査の概況（厚労省）

要介護度別にみた主な原因（上位3位）

（単位：％）	第1位	第2位	第3位
総数	認知症 18.0	脳血管疾患（脳卒中） 16.6	高齢による衰弱 13.3
要支援者	関節疾患 17.2	高齢による衰弱 16.2	骨折・転倒 15.2
要支援1	関節疾患 20.0	高齢による衰弱 18.4	脳血管疾患（脳卒中） 11.5
要支援2	骨折・転倒 18.4	関節疾患 14.7	脳血管疾患（脳卒中） 14.6
要介護者	認知症 24.8	脳血管疾患（脳卒中） 18.4	高齢による衰弱 12.1
要介護1	認知症 24.8	高齢による衰弱 13.6	脳血管疾患（脳卒中） 11.9
要介護2	認知症 22.8	脳血管疾患（脳卒中） 17.9	高齢による衰弱 13.3
要介護3	認知症 30.3	脳血管疾患（脳卒中） 19.8	高齢による衰弱 12.8
要介護4	認知症 25.4	脳血管疾患（脳卒中） 23.1	骨折・転倒 12.0
要介護5	脳血管疾患（脳卒中） 30.8	認知症 20.4	骨折・転倒 10.2

運動をすることで防げるかもしれない原因

関節疾患、骨折・転倒

約1/4の原因は、適度に運動していれば、防げていたかも？

8

餅は餅屋（掛川市体育協会）

- ノウハウがないなら、ある人に任せればいい。

協働の誕生！

西郷課題

- ・運動を習慣化するためにどうすれば？
- ・でも、運動するための知識が欲しい。

西郷

体協

運動教室 誕生！

体協MISSION

生涯スポーツの振興による市民の健康増進・体力及び競技力向上に関する事業、市民が行う地域貢献活動並びに環境保全や地域資源を活用した地域振興事業など生涯学習社会に寄与する。

9

NPO法人掛川市体育協会



TEL: (0537) 61-1910
mail: mail@kakespo.com

スポーツによる元気な地域づくり

生涯スポーツの振興による市民の健康増進・体力及び競技力向上に関する事業、市民が行う地域貢献活動並びに環境保全や地域資源を活用した地域振興事業など生涯学習社会に寄与する。

体育協会の強み

- 指導者230名
 - 担当スタッフがコーディネート
- 地区の課題につながります
- 役員の負担軽減
 - チラシ作成、指導者の手配、
 - 備品の手配、アンケート集計



地域の実情や要望にあわせて、事業提案させていただきます。是非ご相談を！

11

運動教室のしくみ

- 種類の運動で飽きないように
ヨガ、エアロビ、ダンスなど
ニーズに合わせて用意
- 運動を習慣化させるために定期開催（月2回）
- 昼間に仕事してても参加できるように昼と夜の時間帯を分けたことで、子育て世代の女性の参加率UP
- 西郷みらい館開催で、持ち物も少なく運動へのハードルを下げた

西郷地区運動教室

地区のみなさんで楽しみながら健康づくり！

開催期間：H30年6月～H31年3月 第2、第4木曜日（全20回）
時間：①13:30～15:00 ②19:30～21:00
対象：西郷地区の成人男女
定員：①、②ともに30名
内容：ヨガ、ピラティス、エアロビック、健康体操、トランポピクスなど
場所：西郷みらい館
参加料：無料
持ち物：室内シューズ、タオル、水分補給できる飲み物
主催：西郷地区まちづくり協議会
共催：NPO法人掛川市体育協会



ヨガ

トランポピクス

申込み 西郷みらい館にて5月20日（日）9:00～15:00
直接申込み（電話申込み不可）
①・②コースともに先着30名
お問合せ 西郷みらい館 28-0888
月曜日～金曜日9:00～12:00対応可

10

今後の課題

- 参加者50人中47人が女性と、参加者の男女比が偏っている。
- 価値観が多様化しており、ニーズをつかむのが難しい。
- 将来的な継続性

アイデアお待ちしています！

12

アドバイザー講評 川端務夢

健康と運動という素晴らしい視点から活動をされています。地域に健康な人が多いということは必然的に、まちづくりに参加できる割合が大きく、まちが健全になります。健康なときに自分たち以外の者に目を向けられるということは心身ともに豊かだからできることです。

男女比が偏っているとのことですが、女性は身体が資本であることを心からよく知っているため、運動教室に女性が出てくるのは全国的な傾向です。この場合、夫婦でできるプログラムをどう作り上げるかが必要になってきます。それから『価値観が多様化してニーズをつかむのが難しい』とのことですが、ニーズがあるから参加者が多くなる

のではなく、一歩踏み出してみようというWantsの喚起をすることが必要になります。例えば、不健康であるとどんなマイナス面があるかを発信することで、健康でいたいというWantsが高まり、言葉や行動に変わってきます。

最後に事業の継続性です。運動するプレイヤー集めと平行して、地元で運動するための場を作り上げられる人たを育てることで、自分が運営者側にまわり自由に継続をしたいという願望が生まれます。主体性が生まれることで自然に対価、収益性の構造はついてまわります。このような、素晴らしい活動を続けてもらいたいと思います。

この団体の発表、資料をご覧になって「良いね！」と感じたことは何ですか？

私がやりたい活動ではなく、私たちがやりたい活動にするためには、どうすればよいでしょうか。

どこ屋台実行委員会

どこ屋台 ～ 掛川祭り屋台リアルタイム位置情報 マッピング ～

掛川大祭で屋台の位置情報などを公開する仕組みを作り、利便性や観光資源としての価値を高めようと、有志が集まった「どこ屋台」。市民活動推進事業費補助金を活用し、毎年改善を重ねました。

今回の大祭では、自分たちで資金を確保する仕組みを考え、新たな取り組みも実施しました。



活動のきっかけ

- 2015 掛川市 OpenTrans.it の実証実験
市内循環バスの現在地をリアルタイムで表示
- そのシステムを、掛川祭の屋台に流用できないか？
掛川祭41町の屋台が広範囲で移動するため各屋台がどこにいるのか解らない。

オープンデータデイ2015 in 掛川 アイディアソン

実現するためにはどうすれば良いか
ワークショップで洗い出し

- 掛川祭運営との折衝
- GPS端末の確保
- システム構築
- 運営資金

実現するため、アイディアソン参加メンバー
有志で実行委員会を組織し活動開始

平成27年度 掛川市市民活動推進モデル事業

- 事業計画書・予算書作成
- 選考会で、プレゼン

協働事業として採択

予算の確保、市の協力、その他団体の理解が
得られやすくなった。

掛川市市民活動推進事業（H28年度改正）

社会をつくる多様な主体が、協働して地域の課題解決を図る取り組みを定着・発展させることを目的とした事業を、市が支援するもの。

掛川祭運営との折衝

- 掛川祭年番町に打診
- 掛川祭全町会議に出席、説明

12ブロック+仁藤大獅子、西町奴道中+αが参加

各ブロックで個人スマートフォンにアプリをインストールして運用してもらえるようになった。

システム



初年度結果、反省、改善

- 4日間で6000人が3万ページ閲覧
- アクセス多寡による、システムダウン

システムの見直しが必要

次年度は小祭なので、ブロック単位でなく町単位での運用

屋台位置情報だけでなく、他の取り組みも検討

2年目の取り組み

- 平成28年度 掛川市市民活動推進事業にエントリー
- 位置情報公開システムを、スマートフォンアプリ「Glympse」に変更
- 新しいコンテンツの模索
過去の写真の、デジタルアーカイブの必要性がある。

8

2年目 位置情報システム変更



9

システム変更の結果

- システムダウンが無く、安定して表示
- アプリがバックグラウンドで動くので、各町担当者の負担減
- 各町表示アイコンが大きくわかりやすくなった
- 運用は各町任せ
- アイコンの統一
- アプリ立ち上げ忘れ

10

昔の掛川祭 写真アーカイブ

- 一般の方に過去の掛川祭写真を募集
- 1950年～2000年代の約130枚の写真が集まった
- 各写真の撮影位置を特定して、マッピング
- インターネット上で公開
- 写真をパネル化したものを、桔梗が丘広場等で公開
- 現在との比較も

11

昔の掛川祭



12

昔の掛川祭



13

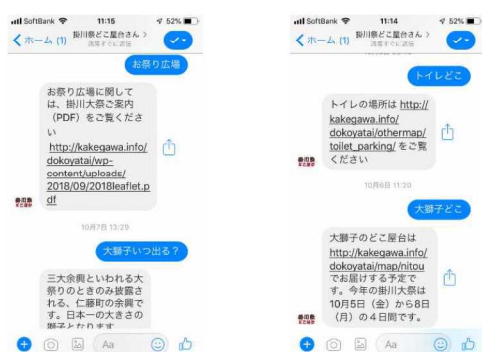
昔の掛川祭



3年目の取り組み

- 屋台位置情報システムは安定
- KAKEGAWA Free Wi-fi 開始に併せてリッチコンテンツ提供の模索
- 目で見える観光ガイドでなく、スマートフォンを使った耳で聞ける観光ガイドマップの作成

15



- ・掛川市市民活動推進事業は3年で終了
- ・予算確保の検討
初年度より、各商店、掛川観光協会、かけがわ街づくり株式会社の寄付、補助あり
本年度、各町、個人の寄付を可能とするためインターネット募金の仕組みを導入
- ・Gov Hack KAKEGAWA開催に併せて、掛川祭チャットbotの制作

- ・屋台位置情報公開の仕組みは確立
- ・余分な手間を省くことで低予算での持続を可能に
とはいえ
- ・どこ屋台採用地区の拡大
- ・各町の負担軽減
GPS情報発信端末の提供検討 (feat.C4K)
- ・新しいものに挑戦も！

アドバイザー講評 千野和子

私ども公益財団法人ふじのくに未来財団においても、市民活動に対し助成金で財源支援を行っています。助成対象団体が、助成金が終了後どのように事業を継続していくのか？資金調達は？など、いつも大きな課題になっています。これから寄附や協賛金を集めようとしていているというのですが、当財団を通して寄附を集める「団体指定寄付」も可能性としてありますので、ぜひご検討ください。なお、公益財団法人への寄附には寄附控除が適用されますので、資金提供者側にもメリットがあります。

この団体の発表、資料をご覧になって「良いね！」と感じたことは何ですか？

どこ屋台実行委員会の技術は、観光分野での活用が広く期待されます。掛川には、様々な国からのお客様も多いと聞いていますので、外国人観光客対応のプログラムもニーズが高いと思います。県内他地域の事例として、静岡市清水区には、ストーリー性のある音声ガイド「Otono (オトノ)」アプリがあります。また、伊豆には伊豆八十八ヶ所霊場をめぐるための「伊豆88遍路」というアプリもあります。いずれも民間が作り、観光と結びついています。掛川にある地域の宝に関する情報発信を、さらに充実させることに頑張っていたいただきたいと思います。

現在、自分たちが行っている活動を持続させるためには、どのようなことができますか。

かけがわ

かけがわ未来づくり会議で学んだこと

自分たちの住む地域が“もっとこうなったらいいな”という想いやアイデアはありませんか。そのアイデア、実は、素敵なまちづくりのヒントかもしれません。人材育成講座「かけがわ未来づくり会議」では、「アイデアは行動してカタチになる」をコンセプトに、座学だけではなく、企画したプランの実践をとおし、課題を解決に導いていく手法を学びました。



団体名の由来

かけがわって?

キッズニア × かけがわ

楽しいことも達の国
 KID...子どもたち(ドイツ語)
 Z...「楽しい」を意味するザニイ(ラテン語)
 ANIA...「～の国」(ラテン語)
 【東京都と兵庫県にある子どものお仕事体験テーマパーク】

かけがわ未来づくり会議 実践編講座 流れ

第1回 「オリエンテーション」
 ・dPDCAサイクル、アイデアシートの説明等

第2回 「まちづくりプラン作成・チーム分け」
 ・個々のアイデア発表→投票→上位4アイデアによるチーム分け

第3回 「チーム内ディスカッション・模擬プレゼン」
 ・(小さなdoを繰り返し実行)→プレゼン→講師よりアドバイス

第4回 「一般公開プレゼンテーション」
 ・支援やさらなる意見を求め、一般プレゼン→プランに磨きを

私たちが気づいた課題

わたしたちが気づいた課題

将来の選択肢が限られてしまう

- 多様な職業に触れる機会が少ない。
- メジャーな職業しか知らない。

市外へ働き、買い物に出でしまう

- 地元の企業や職業をあまり知らない。
- 地元で魅力的な仕事があることを知らない。

課題を受け、私たちの目的

目的

掛川でお仕事体験ができる場をつくることで...

普段の生活では触れることのない職業に触れる機会を生み、掛川に住む子どもたちの将来の選択肢を増やしたい。
 ひいては掛川に戻って働く人を増やしたい。

地域の職業を知る機会や、地域内のつながりをさらに増やしたい。

大人にも体験、発見してもらいたい。

子ども達にはいろんな選択肢の中から夢を描いてほしい。
 小さいうちは大人が見せてあげられる景色が全てなので、いろんな景色をみせ、体験させてあげたいな。

地域

子ども

親

企業

子どもも親も企業もそして地域も、みんながHappyなまちへ

Small do (小さく実行)

①アンケート調査の実施

②他事例(静岡市子どもクリエイティブタウンま・あ・る)見学

③お仕事プチ体験の実施

Plan(計画)

Action(改善)

Do(実行)

Check(評価)

Small do(実際に小さく動いてみる)をしてみよう

お仕事体験をしたい・させたいという需要

- ・ 非常に多い

体験してみたい職業

- ・ メジャーな職業の名前しか出てこない
- ・ 掛川ならではの職業が少ない

体験時間・形式

- ・ 15分程度であれば幼稚園児も参加可能
- ・ 内容に納得すれば、体験費用をもらうことも可能
- ・ 体験できる職業が集まっていることで選択肢ができる

新たに気づいたこと

- ・ 体験を通して、子どもが親以外の大人とふれあう機会になる
- ・ お店屋さんの宣伝にもなることがわかった

Small do した結果を踏まえ、目的達成・課題解決のために、私たちができることはなんだろう。



地元企業

かけがわ(私たち)

協働



かけがわ未来づくり会議で学んだこと

★アイデアを出すコツ

- ・ 街中を見渡してみる、普段当たり前のことをやめてみる、方法を変えてみる、現場の声を聞く。

★共感や仲間あつめ

- ・ 投票を通して、「私がやりたいこと」がどのくらい共感が得られるかを知り、プレゼンテーションを通して、活動を進める上で大切な仲間や共感を集めた。

★small doの効果

- ・ P(計画)の前にdo(小さく実行)することで、ニーズを汲み、その結果を分析してからP(計画)を練ることで、頭でっかちにならず、身の丈に合った活動を考えることができた。

アドバイザー講評 川端務夢

現代社会においては、少子高齢化を一つの軸で捉えがちですが、高齢化と少子化は根本的に軸が違います。なぜかという、子どもを育てやすい環境があれば、子どもは自然に増えると考えられます。言い換えると、親が素晴らしい活動をもっと広めたいということに対して協力的なまちでなければ、まちに子どもは増えていきません。

親が子どもに職業体験をさせたいという理由には、情操教育の一環として子どものうちにいろんな体験をさせてあげたいとか、自己肯定感や達成感を味わせてあげたいという想いがあると思います。そこまで考えている親に對

し、自分たちの子どもがどんな人間になって欲しいかという将来像を考える討論会などを開き、その目標達成に向けて、体験先の職場にそのビジョンをお伝えするということが今後行っていく必要があります。

また、今掛川にある既存の仕事の良さを知りながら、新たな仕事をつくる能力を小さい頃から身につけるという教育も、子どもたちにとってはとても素晴らしい未来の広がりにつながるといいますので是非チャレンジしてみてください。

最後に、掛川ならではのお仕事も子どもの職場体験の受け皿として広がって欲しいと思います。

この団体の発表、資料をご覧になって「良いね!」と感じたことは何ですか？

Small Doをしたら、何をしようと思いますか？

活動発表 ⑤

NECプラットフォームズ 株式会社

NECプラットフォームズの社会価値創造、社会貢献活動

市に営業所を設立してから四十年余が経過し、その間、様々な社会貢献活動を行ってきました。企業も一緒になって、まちを良くしていこうという想いをもって、地域に根ざした活動を継続的に取り組んでいます。



NEC Way ～サステナブルな経営（CSR経営）～



(2017年改訂)

3 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

NECグループが目指す社会価値創造

Orchestrating a brighter world



4 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

NECプラットフォームズ 主要拠点

本社1、開発・生産拠点17、営業拠点25、子会社5社(国内2社、海外3社)



6 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

NECプラットフォームズ ビジョン

ITとネットワーク双方の製品、コア技術、開発・生産技術、ソリューション構築力を持つ強みを生かし、社会価値の創造に貢献します



5 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

NECプラットフォームズ掛川事業所全景



掛川事業所 主要製品

アクセシビリティ/エンベデッド事業

ホームゲートウェイ



組み込み製品



ネットワークプロダクツ事業



8 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

外部表彰

2018年度 GOOD FACTORY賞「ものづくりプロセス革新賞」を受賞
NECPFで3年連続、4回目の受賞 (2014:タイ、2016:福島、2017:甲府)

◆受賞テーマ「お客様に選ばれ続ける工場を目指して」
～ホームゲートウェイレンタル事業を支える資源循環型生産方式の確立～

目的 日本およびアジア地域に進出している製造業の生産性や品質の向上、改善活動に成果をあげた工場を表彰
主催 一般社団法人日本能率協会 (JMA)
表彰式 2018年10月29日: GOOD FACTORY賞授賞式
2018年10月30日: 受賞企業講演会(東京コンファレンスセンター・品川)

特に評価されたポイント

- ①工場内だけでなく、パートナーやユーザーの困りごとまで幅広い視点でHGWレンタルビジネスを構築
- ②工場内への方針展開と活動の見える化
- ③現場改善活動と幹部とのコミュニケーションの仕組みや経営革新を推進するための人材育成

2018年度の受賞企業

<https://jma-goodfactory.com/2018goodfactory/>



10 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

掛川事業所の社会貢献活動

社会貢献活動 (地域住民)

ソフトボールの指導

日本女子ソフトボールリーグに所属する当社の女子ソフトボール部員による近隣の小中学生への指導会を開催しています。

グラウンドの貸出

女子ソフトボール部の練習が行われない時には、グラウンドを近隣住民の軽スポーツ会場として提供しています。

市内イベント用の駐車場貸出

掛川市で休日に開催されるイベントにあたって、従業員用駐車場を臨時提供しています。

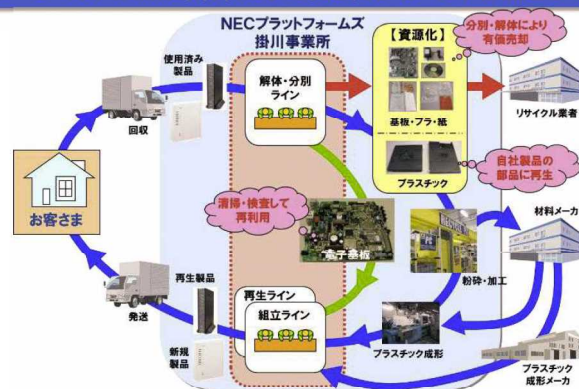


グラウンドゴルフを楽しむ近隣の皆さん

14 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

HGW (ホームゲートウェイ) のクローズドリサイクル

回収したHGWを解体し、再度部品として最大限活用するしくみに加え、モールド部品は原材料にまで戻し再びモールド部品として活用



9 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

外部表彰

「平成28年度 緑化優良工場等 経済産業大臣表彰」受賞

目的 工場緑化を積極的に推進し、工場内外の環境向上に顕著な功績のあった工場等を表彰することで工場緑化の一層の推進を図る
主催 一般財団法人日本緑化センター(後援: 経済産業省)
表彰式 2016年11月1日(火) 場所: 石垣記念ホール

◆受賞『NECプラットフォームズ(株) 掛川事業所』

昭和44年操業当初から事業所周辺の緑化に配慮し、樹木の植栽などの整備、現在では10mを超える高木が工場を囲む。また掛川市の環境美化推進ボランティア事業への参加、緑地一部(グランド等)を地域住民へ開放等、地域の社会貢献活動に取組み、構内で親子環境学習会の開催や地域の小中学校へ環境出前講座の実施等、積極的な環境意識啓発活動が評価される。※当事業所は、2009年会長賞、2012年局長賞を受賞



11 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

社会貢献活動 (雇用)

障がい者雇用

障がい者雇用に対応。
設計開発や製造の分野で活躍いただいています。

＜現在の雇用状況＞

就業人数	21人
雇用率	3.16%

中学生/高校生の職場体験 (インターンシップ)

掛川市内の中学校、高校からの職場体験 (インターンシップ) の要請に対応。社内にてものづくりの体験をしていただいています。

＜受入の状況 (人)＞

	2016	2017	2018
中学校	5	5	5
高校	9	8	5



VRシステムで作業の動作を確認

空気圧で動作する設備について学習

13 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

社会貢献活動 (地域住民)

ソーラー街路灯・防犯灯の設置

【目的】①新工ネ活用技術の実践 ②地域・従業員の『環境意識向上』
③地域・従業員の『安全・安心の提供』

【製作風景】

【LEDランプ組立】

【ソーラーパネル取付】

【据付】

【ソーラー街路灯】

(2007.10稼動)

【ソーラー防犯灯】

(2008.3稼動)



歩道を照らす11基の街路灯

社員駐車場の防犯灯22基

掛川市殿より感謝状を拝受

15 © NEC Corporation 2019 NEC Platforms Orchestrating a brighter world NEC

社会貢献活動(環境保全)

かけがわ美化推進ボランティア連絡会に登録

・毎月の会社周辺道路の清掃活動(年間800人)



希望の森づくりパートナーシップ協定の締結

・植樹祭/育樹祭への参加 ・植樹祭用の苗木の育成



16 © NEC Corporation 2019

NEC Platforms

Orchestrating a brighter world NEC

社会貢献活動(環境学習)

環境出前講座への講師派遣

2012年度から
市内小中学校12校実施
2018年度は横須賀小、
第一小の2校で実施



環境消費生活展 への出展

環境配慮型製品展示
ソーラー工作



環境資源ギャラリー への展示(常設)

環境配慮型製品展示
資源循環システム紹介



18 © NEC Corporation 2019

NEC Platforms

Orchestrating a brighter world NEC

社会貢献活動(環境学習)

環境学習指導者研修会の開催(2008年~8回目)

開催日 2017年8月23日(水) PM
参加者 地元自治体関係者・NPO等 16名
プログラム
・子供向け環境教育方法を学習
・科学工作&体験学習
・エコパーク等見学

教育方法
の学習



科学工作の体験



エコパーク見学



親子環境学習会の開催(2005年~12回目)

開催日 2018年2月17日(土) AM
参加者 地域及び社員の親子
15家族 32名
プログラム
・エコパーク等見学
・工作&体験学習
・環境クイズ大会

ソーラー
トレイン
工作に挑戦



工場見学



環境クイズ大会



17 © NEC Corporation 2019

NEC Platforms

Orchestrating a brighter world NEC

女子ソフトボール部の紹介

女子ソフトボール部は1984年に創部。

2018年には所属する日本女子ソフトボールリーグ2部で優勝を果たし、
2019年は上野投手を擁するビックカメラ高崎などが所属する1部リーグ
に参戦します。



エース 三木投手

4番打者 和田選手

松井市長に2部リーグ優勝をご報告
(広報かけがわの電子版に掲載いただきました)

19 © NEC Corporation 2019

NEC Platforms

Orchestrating a brighter world NEC

アドバイザー講評 千野和子

NECプラットフォームズならではのSDGs(国連サミットで採択された持続可能な開発目標)の達成計画、社会的価値の創造など感心してお話を伺いました。

SDGsは単なる政治的な目標ではなく、世界的で取り組むべき目標として、企業の貢献が期待されています。様々な業界でSDGsへの関心が高まりつつあります。社会課題解決に取り組むNPO業界でも、SDGs目標に合わせた棚卸し作業が始まっています。SDGs目標をコミュニケーションツールとして、協働で社会課題を解決していこうという方向に向かっています。

企業ができない部分を協働で担ってくれるNPO等のパートナー探しの相談を、当財団は企業さんからよく受けます。そこでの対話ツールとしてSDGsの目標設定は、企業でもNPOでも必要になります。

本日は、企業が行う様々な社会貢献活動を紹介いただきましたが、今後はNPO等と協働で一緒に取り組むような事業をしていただけると、より良い地域貢献につながるのではないかと思います。

この団体の発表、資料をご覧になって「良いね!」と感じたことは何ですか?

本業で社会的課題に取り組んでいる企業を探してみよう。

まちづくり活動紹介エリア①

発表団体以外にも多くの団体がまちづくりに
において活躍されています。その一部を紹介す
るパネル展示を発表会と併せて行いました。

カムカムエブリボディ

美しい日本語、正しい日本語を
子供に伝えたい。
方言を調べる。

平成29年2月に掛川塾を卒業
した9期生、2つのグループが
相互協力を目的に合併し、誕生
致しました。

遊悠倶楽部

第二の人生をスタートした私達
趣味を生かした仲間づくり
いきがいを目的とする

カムカム遊悠倶楽部

年間2つの大きなイベントを開催

学童保育所交流会

8月夏休みにイベント開催

○絵本の読み聞かせ、紙芝居など。

○にわか楽団結成。歌も唄いました。
どうすれば子供たちの興味を持続
させることができるか、逆に教えられる
事が多い活動です。

遊悠倶楽部文化展

12月～2月に展示会開催

○会員や掛川塾講師の力作を展示。

○NHKや新聞等マスコミの紹介も。
第一回来場者172名、第二回来場
者813名、第三回来場者980名と
着実に動員数を伸ばしています。

一緒に活動してみたいと思われ
たら、是非参加してください。
全くバリアフリーで歓迎します。

展示会に出品してみたい方、会
場の広さによりますが、ジャンル
を問わず大歓迎です。

《連絡先》
0537(24)7800 鈴木 達

こどもは 未来の観光大使!

This is Kakegawa

掛川市まちづくり塾4期生
5名

掛川のこと
どれだけ知っているの
かしら...

知らないことわ
けは多いあるね。

掛川を知らなくて一人一人が観光大使に!

↓

小さい頃から掛川に親しんでもううには...?

そんな発想が「お茶の間クイズ」に
うまれました。

主な活動
市内22の小・中学校に
毎年「お茶の間クイズ」の
ポスターを掲示し、
児童・生徒の皆さんに
「お茶の間クイズ」の
楽しみ方を教える。

カムカム遊悠倶楽部

掛川音訳ボランティア 「サークル声」

「広報かけがわ」を音訳し、
読むことが困難な方に届けている

音訳って知ってますか?

目の代わりに書いてあることを
書いてあるとおりに読むことです

「聞きやすい」音訳 公開録音
＝ 聴きやすい音訳 公開録音

広報かけがわを
担当を決め読みます。

ひとりひとりが
自分が読んだところを
パソコンで編集します。

聴いてくださる
利用者さんを思いながら
発送します。

毎年、研修会を行います。
2018年6月
講師：元SBSアナウンサー 郷 氏

活動は掛川市立中央図書館の録音室とボランティア室で実施
問：010-5424-5472 (柳原)

掛川音訳ボランティア
「サークル声」

This is Kakegawa

観光ボランティアガイドの会 猫の手の手

観光ガイドを してみませんか!

研修 (鎌倉にて)

市内散策 (神楽坂にて)

市内案内 (月満寺にて)

研修 (吉原見物門にて)

富士山の日ウオーフ (掛川城にて)

市内案内 (稲垣にて)

① 年令は問いません
② 年令費 2,000円
③ 主な活動 掛川城 その他の観光案内
④ 問い合わせ先 観光ボランティアガイド 会長安藤 0537-72-5637

観光ボランティアガイドの会
猫の手の手

まちづくり活動紹介エリア②

～幼い頃見た野原や田園の 原風景を求めて～

酔芙蓉

人は幼い頃見た野原や田園の風景が心の拠り所となっている。私たちは、花が大好きです。人の心を癒し、豊かにしてくれます。せめて、自分の住む地域や公共施設は花木で緑豊かにしたい。

月に1～2度集まり、種から花を育てます。夏の草取りは大変です。

酔芙蓉
代表 石山静雄
Tel 27-0103

酔芙蓉

ゆとりと安らぎのある暮らしが出来る町

遠州沖ちゃん塩

天然にがり！

遠州沖ちゃんクラブ

私たち がんばってま～す！

塩づくりの工程 7
・天日干し
完全な塩の花塩です！

事務所 掛川市沖之須379-1/
コミュニティセンター「いんい」
電話 777 0537-48-5058

遠州沖ちゃんクラブ

市民活動によるシティプロモーション

ママバトン

すぐに大きくなるからね！みんなでシェアしよ、子供服♪

ものも きもちも
次のママへ

物々交換会を始めて6年目。135回開催しました。会を通して『物の大切さに気付く』『ママの孤食をなくす』支援になっていくという想いです。

リサイクルからリユースへ

掛川市は、ゴミの量(1人1日に出すゴミ)が少ない方から全国2位(1人658g)捨てる前に次の誰かにバトンする仕組み作りをしています

One more baby

県出生率ランキングで掛川市は11位です(1,661人)地域みんなで子育て用品をシェアし合い、経済的な支援となれば。掛川ならもう1人大丈夫と想えたらいいな。

ママバトン

静岡県車椅子友の会 掛川支部

モットーは？

「くすぶってなんかいられない、みんな外に出よう!!」

会員同士の交流・情報交換・住みよい街づくり、バリアフリーを目指して障害者の社会参加と市民とのふれあいを目的に活動しています

会員を募集しています、いつでもOK!!送迎の必要人はお申し出下さい
※「運転ボランティアの会」が協力しています

☆定例会「毎月第3日曜日」

会場 たまり～な 工作室
開催日 毎月第3日曜日
時間 13:30～16:00

☆活動内容「学習会・行事計画」

パーバキュー交流会
映画と買い物
国際福祉機器展見学
ふれあい広場
一泊研修旅行(2年に1回)
クリスマス会・新年会
掛川市福祉教育実践事業への参加・協力
他団体・ボランティア協議会との交流

静岡県車椅子友の会
掛川支部

まちづくり活動紹介エリア④

「防災」について、一緒に考えてみませんか!!

掛川市防災士の会
ふじのくに防災士会
掛川市委員会

地元の「自主防災会」、地区の「まちづくり協議会」の防災部会などで防災に関わる活動をされている方、今は活動してなくても、活動してみたい!!とお考えの方、防災について、一緒に考えてみませんか!!

「掛川市防災士の会」では、地域に根差した活動を通して、防災知識の習得に努め、災害発生時に地域に役立つことを目指しています。

活動内容

- 静岡県、掛川市および周辺市町、市民活動団体などの主催する防災講座、研修会などに参加して、会員の防災に関する知識の習得・レベルアップに努めています。
- 掛川市の実施する「防災リーダー養成講座」、掛川市内および周辺市町の自主防災会などが実施する「防災に関するイメージトレーニング」、グループワークの講師として、講座の進行のサポートをしています。
- 掛川市のSNS「e-じゅん掛川」の「掛川市防災士の会」のサイトで、防災に関する情報を発信しています。
- 会員が居住しているそれぞれの地区の「自主防災会」が行う防災訓練等の防災に関する活動に参加し、共に考え、活動しています。

募集要項

◇ 対象	「防災士」の資格を既に取得済みの方 「ふじのくに防災士」、「防災士」の資格をお持ちの方 性別・年齢・職業・居住地不問
◇ 会費	会費は、徴収していません。研修会などの謝礼を活動費に充てています。
◇ 主な会場	近所会、生涯学習センター、公民館の部屋、掛川市総合福祉センター、ボランティアルーム、公民館、研修会など、掛川市内および近隣市町の地区センター、公民館など
◇ 申込方法	「掛川市社会福祉協議会」のホームページに掲載されている「掛川市防災士の会」のページに記載されている「チラシ」を、ご郵送ください。下記に、記載しています。
◇ お問い合わせ	「掛川市社会福祉協議会」⇒「総務課」⇒「ボランティア」⇒「防災ボランティア」 NPO法人「協力関係一覧」⇒「災害」の欄の②「掛川市防災士の会」⇒「チラシ」

掛川市防災士の会

NPO法人 高天神

目的 高天神城址を中心とした地域活性化を図り、地域社会の発展に寄与すること

かき水 ひじかた茶屋

土方っ子 思い出のかき水屋を
地域ボランティアの力で復活
6月～8月 火・金・土・日 営業
※ 本年の営業日は未定

地域食堂 ひじかた茶屋

昨年12月 第1回を開催
メニュー カレー 約100人の来客
大人 200円 子ども 100円
次回開催 2月3日(日)
11:30～13:30
メニュー 豚丼

随時開催
野菜直売、イベント、手づくり雑貨等を販売

場所 上土方70番地
土方郵便局南(旧中島屋)

問い合わせ
090-9172-9838
(福岡)

NPO法人 高天神

～仲間づくり、自分さがしの旅に出かけてみませんか～

掛川塾

「掛川塾」は、あなたの「新しい仲間との出会い」を提供する地域デビュー支援講座です。

講座例

(入学式) (講演) (街なか研修)

卒業後活動例

(文化展開催) (史跡散策) (介護施設等慰問)

講座内容等活動状況はホームページをご覧ください。
(<https://kakegawajyuku.p-kit.com/>)

募集要項

- ◇ 講座 年度4月より、毎月1回(第4日曜日)の11回連続講座
- ◇ 対象 おおむね35歳以上の男女 ◇ 定員 30名程度
- ◇ 参加費 入会金 5,000円 毎回の参加費 1,500円(資料・昼食代等含む)
- ◇ 主な会場 22世紀の伝説園内「たまりな」(大研修室)
- ◇ 申込方法 選考、掛川塾HP/P申し込み欄・Eメール・電話にてお申込みください。
- ◇ お問い合わせ 携帯 080-1563-8856 Eメール nposhiniaken@docomo.ne.jp 事務局 荒木

主催：NPO法人 掛川シニア交流研究会
後援：掛川市、市教育委員会、市社会福祉協議会

NPO法人 掛川シニア交流研究会

NPO法人 f.a.n.地域医療を育む会

こどもの急病時対応のガイドブックを中東遠医療センターの先生方監修のもとで作成し、子育て中の保護者の方々に説明しながら無料配布しています。

救急救命法の普及活動も技術の習得はもちろんですが、自分や他人の「いのち」に関心を持ち、大切に思うことお互いに慈しみ合う心を更に高めていただけるようにご要望に沿って実施させていただいています。

地域医療資源は、限られています。その資源が次世代まで繋がるように様々な活動を一つずつ皆で支え合いながら進めています。いつでも誰でも参加できます。一緒に活動してみませんか?

お申し込み・お問合せ先 武田和子 0537-72-2903

NPO法人 f.a.n.地域医療を育む会

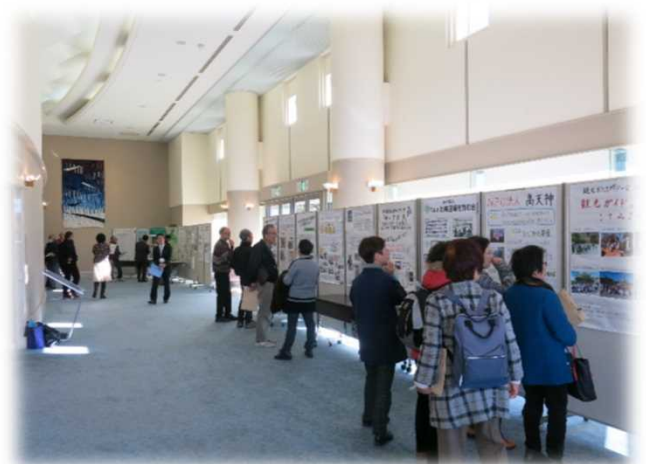
まちづくり活動紹介エリア⑤



静岡トヨペット株式会社



株式会社キャタラー





アドバイザー全体講評（川端務夢）

5つのまちづくり活動発表お疲れ様でした。私のアドバイスとして皆様に、3点ほどお話しさせていただきます。

ビジョンの設定

1点目は、自分たちの活動の最終ゴール、ビジョンはなにか明確にすることです。運営に携わる役員の皆さんはすでに明確な目標をお持ちだと思われそうですが、団体に所属するすべてのスタッフや会員まで同一のビジョンが描けているでしょうか。

まちづくり活動の参加者には金銭的インセンティブを多くは望めません。したがって、参加者の主体性を引き出していかなければ事業の継続性は見込めません。ゆえに、この活動は何を目指しているのかを共通認識としてもつことが大切になってきます。事業を立ち上げた初歩の段階は楽しいことが張り合いになりますが、ルーティンになっていくと、徐々に人心は離れていきます。そうなる前に、最終的にどんな世の中になっていきたいか、どんな人になって欲しいか、どんなまちになって欲しいかというビジョンを、お酒を飲みながらで結構ですので話し合っていくことがすごい大事な要素になっていきます。



Seeds、Needs、Wants

2点目は、ニーズ（Needs）の掘り起こしと多くの団体で言われていましたが、ニーズの前に皆さんがやるべきことはマーケティングの言葉で言うとシーズ（Seeds：種）を探し出すことです。地域課題の中では、地域の事実を掘り起こして、事実を並べたときにこんな問題があるよね、と理解してもらうことが大切です。Seedsがあって、SeedsがNeedsに変わって、Needsに対して賛同して自分も参加しようというウオント（Wants）が生まれたとき、まちは素晴らしく変わっていくと思います。

知識の継承と人材育成

最後の3点目として、人間というのは人や本から得られた知識や知恵を、外へ出した瞬間に身に着きます。多くの活動で得られた学習や工夫を学んだときに、これを自分なりのカタチで外に出してみることが大切です。自分たちが学んだことはどんどん次世代に教えていくことで、次世代がインプットされたものをさらに下の世代に教えていくというルーティンが生まれれば、自ずと人材の裾野は広がっていきます。

今後とも素晴らしい活動を多様な主体を巻き込んで協力、協働、そして「総働」という形で進めてください。今回は素晴らしい発表を拝見させていただき、どうもありがとうございました。



会場の様子



平成30年度 協働によるまちづくり活動発表会



平成30年度 協働によるまちづくり活動発表会参加者アンケート 集計結果

参加者：230 回答数：166（回答率72.2%）

（１）あなたの所属する組織を教えてください。

		割合	備考
地区まちづくり協議会、自治会等	112	67.46%	
NPO（非営利法人、市民活動団体含む）	11	6.63%	
企業・事業所	0	0.00%	
行政	20	12.05%	
特になし	9	5.42%	
その他（ ）	7	4.22%	議会
無回答	7	4.22%	
計	166	100.00%	

（２）本日の発表に対する感想や印象について、当てはまるものにチェックしてください。

		割合	備考
満足している	62	37.35%	
やや満足している	71	42.77%	
やや不満足	16	9.64%	
不満足	1	0.60%	
無回答	16	9.64%	
計	166	100.00%	

その理由、感想やご意見をお書きください。

満足している

- ・ 視野が狭く、封建的な考えが強い地域に住んでいるため、「井の中の蛙」から少しでも脱皮することができた。
- ・ 各発表はやる気を持たせることが多々あった。
- ・ 様々な団体から多様な活動報告を聞いたこと（まち協だけの発表でないところ）
- ・ 市の方の前説がある事で、内容に入りやすかった。
- ・ 年々発表内容がアップしていてすごいです。勉強になった。
- ・ まち協ばかりではなく、市民活動団体の活動や企業の活動が、活発になっているように見えました。

やや満足している

- ・ 全体の時間が長い。休憩がほしい。
- ・ 自分たちの住むまちに見合った活動が少なく、自分の地域でこの活動を進めるには何が足りず、どんなアイデアが必要となるのかを考えるのにはよい機会となった。
- ・ まち協発足丸3年で、活動のレベルアップが確実に進行しているのを感じた。
- ・ なぜ新しいことをしなければいけないのか。今までやっている事を充実させることの方が良いのではないのか。

やや不満足

- ・ 全体的に長い。前よりは良くなった。

(3) 発表を聞いて参考にしたい、実行してみたいと思ったことはありますか？

- ・ 専門家を利用すること、参考になった。
- ・ PDCAの前のsmall Do
- ・ 地域から役員を集めてきた習慣によるものだと考えられるが、活動のマンネリ化、リーダーへの依存等、自主性に欠けることが多い。自分のやっていくことへのプロデューサーとなる気持ちを育てたい。
- ・ 睦浜と大坂の発表は楽しそうだなと思った。市から言われてやるのではなくて、自分たちでやってみるその発想がとてもすてきだと思った。まち協って何、とまだまだそんな意見が多い中、楽しんで企画実施が絶対条件だと思う。是非私たちもコラボ企画皆さんに提案してみたいと思った。

(4) あなたがまちづくりを行うにあたって、抱えている課題を教えてください。当てはまるもの全てにチェックしてください。

	合計	内訳			
		まち協等	NPO	行政	その他
会員不足	29	17	4	1	7
役員のなり手	117	93	4	10	10
資金調達	36	18	4	4	10
情報発信力	35	26	4	1	4
他団体情報不足	24	19	2	0	3
外部人材・ネットワーク不足	24	19	3	1	1
事務能力	22	17	2	2	1
意見集約、合意形成	26	22	0	2	2
何をしてもよく分からない	19	13	0	1	5
その他	16	12	0	1	3
その他回答：事業の継続性、役員の負担、無関心、共通の目標がない、世代交流など					

(5) 発表会全体を通じての感想を教えてください。

- ・ 身の丈に合った活動の重要性が分かった。
- ・ Small Doの実践、ビジョンを明確にすること等に日々挑戦したい。
- ・ 発表会の時期、時間、曜日等が適切である。一つ一つの発表の前に協働推進課職員が説明するやり方は良い。
- ・ 価値の多様化の時代、いろいろ協力して何かをやろうとしてもその合意形成がなかなか難しく、実行に至らないのではないかと感じます。もう少し簡単に考えることができればと思いますが。
- ・ まちづくり協議会だけでなく、いろいろな人たちが活動していることが分かり良かったです。
- ・ 継続可能な「まち協」の組織のあり方等。

◆あなたの夢、◆
描いたつづきは
◆掛川で。◆

編集発行 まちづくり協働センター

(掛川市生涯学習協働推進課 協働推進係)

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1番地の1

T E L : 0537-21-1129 F A X : 0537-21-1165

平成31年3月29日発行